

〈プロフィール〉

北海道岩見沢市出身。日本工芸会正会員。

新篠津村の障がい者施設で陶芸指導にあたったことをきっかけに、独学で陶芸を勉強し、独自の練上（ねりあげ）技法を生み出す。東日本伝統工芸展、日本伝統工芸展、日本陶芸展、拡張する伝統工芸展（文化庁）、アートセントラル2022（香港）等に出席。2008年には当館工房で行われた陶芸教室の練上講座講師を務める。2022年死去、享年73歳。

同年11月には札幌三越にて尾形香三夫遺作展が開催された。



尾形香三夫 氏 (1949 – 2022)

〈年表〉

- 1949 年 北海道岩見沢市に生まれる
- 1979 年 新篠津村の障がい者施設で陶芸指導にあたる
- 1983 年 新篠津村に窯を開く
- 1985 年 東日本伝統工芸展（入選 31 回）、日本伝統工芸展（入選 7 回）
- 2003 年 日本陶芸展（入選 2 回）、日本工芸会 正会員となる
- 2008 年 練上講座講師（江別市セラミックアートセンター）
- 2017 年 日本陶磁協会賞受賞作家展（銀座・和光）
工房を岩見沢市に移転
- 2019 年 ジョーンズ・B・マービスギャラリー個展（NY）
- 2021 年 タッチギャラリー個展（香港）
- 2022 年 死去（享年 73 歳）
尾形香三夫遺作展（11 月札幌三越）

〈主な受賞歴〉

- 1988 年 伝統工芸新作展北海道新聞社賞
(1995、2005 年受賞)
- 1998 年 益子陶芸展審査員特別賞（2000 年受賞）
- 2005 年 現代茶陶展 TOKI 織部銀賞、
伝統工芸新作展東日本支部賞
- 2016 年 日本陶磁協会現代陶芸奨励賞
北海道展奨励賞

〈主な作品収蔵施設〉

メトロポリタン美術館、ボストン美術館、シカゴ美術館、
江別市セラミックアートセンター 他



尾形香三夫
練上陶板“眩暈”
(江別市セラミックアートセンター蔵)

尾形香三夫 追悼展